

*集会の計画を進んで立てようとしている。

*集会の準備に積極的にかかわっている。 など

【思考・判断】

<評価基準>

学級の一員としての自覚をもち、友達と協力しながら、学級や学校の生活の充実と向上を目指して諸問題の解決について考え、判断している。

<具体的な評価基準>

*どうやったら集会でみんなが楽しく過ごせるかを考えて行動している。

*集会のルールや約束事を決めることができる。 など

【技能・表現】

<評価基準>

話合いの活動などにおいて、自分の考えを発表し、友達の考えと比較したり、役割を分担したりして活動することができる。

<具体的な評価基準>

*集会活動を実行するための役割分担をすることができる。

*よりよい集会になるように意見を出すことができる。 など

【知識・理解】

<評価基準>

話合いの活動や係・集会などの実践を通して、学級内の組織づくりや生活上の諸問題の解決方法を理解している。

<具体的な評価基準>

*集会活動を運営する方法を理解している。

*集会活動での自分の役割分担を理解している。 など

次に、その2についてです。新しい学習指導要領では、3つの「資質や能力」（人間関係形成力・自治的能力・社会参画の態度）が求められています。その「資質や能力」ごとに、いくつかの具体的な評価基準をもち、それに基づいて、見取り、記録していく方法です。以下に、その具体的な評価基準を紹介します。

【人間関係形成力】

<具体的な評価基準>

*誰にでも同じようにかかわりをもとうとしているか。

*集会づくりに向けて協力し合っているか。

*集会の進め方について折り合いをつけようとしているか。 など

【自治的能力】

<具体的な評価基準>

*集会づくりに対して（向けて）自分の意見をもってかかわっているか。

*よりよい学級づくりに集会を生かそうとしているか。

*よりよい方法を創り出そうとしているか。 など

【社会参画の態度】

<具体的な評価基準>

- *集会のルールを守ろうとしているか。
- *自分の役割を果たそうとしているか。
- *集会を通して学級の問題を解決しようとしているか。 など

子どもたちへの評価を大切にしたいと思っています。なぜなら、評価は一人ひとりの子供を伸ばすことにつながるからです。そのためにも、ここにあげたような評価基準をもち、記録をとっておくことと同時に、集会の計画から実践に至るまでの過程で見取られた子どもたちの活躍や努力を、具体的に誉めてあげたいものです。誉める観点は一人ひとり違いますので、一概には言えませんが、一人ひとりの伸びを明らかにしてあげることが大切です。

評価は、今現在、私たちの目の前で成長しようとしている子どもたちのためであるものでありたいと思います。

2 係活動を活性化させる～言葉かけの工夫

山口学級活動ネットワーク 編集部

新学期は始まって2ヶ月が過ぎました。4月に始まった係活動、ひょっとしたら少し中だるみ状態に陥っているところもあるかもしれませんね。

そこで、係活動を活性化させるための言葉かけについて書いてみます。

その1 活動意欲を高める言葉かけ

子どもたちの活動を直接ほめる言葉かけをやってみましょう。

中だるみしがちなこの時期、一生懸命に自分の役割を果たそうとしている子どもがいます。そういう子を見つけ、個別に言葉かけをしたり、学級全体に紹介したりしていくのです。

「いつもよくがんばってくれているね。」

「君のおかげで、いつも学級文庫の棚がきれいに片付いているよ。」

「みんなの気付かなくても、〇〇し続けていることには、感心しているよ」

「クラスみんなも、きっと感謝しているよ。」

その2 活動の工夫を促す言葉かけ

活動がワンパターン化になりがちなこの時期、新しい工夫を生み出すきっかけを与える言葉かけです。

「遊び係さんがやってくれる『みんな遊び』の計画、いつもたいへんだね。今度はみんなにやりたいことを聞いてみるのもいいね。」

「スピーチ係さんの『一言スピーチ』、今度はエントリー制にしてみるのもおもしろいかもかもしれませんよ。」

「〇〇係さんの△△な方法は一つの係りだけの方法にしておくのはもったいないね。他の係さんも取り入れられるかもしれないね。」

その3 活動の仕方を示唆する言葉かけ

やりたいことはあるけど、どうやったらいいのかわかっている係がある場合、その活動の仕方を教えてあげる言葉かけが有効に働くことがあります。

「学級新聞に、みんなからアンケートをとって載せてみるのもおもしろいかもかもしれないね。」

「この前やったミニ集会のやり方を変えてやってみたらどう。」

その4 協力活動を促す言葉かけ

係の中で仕事が分断されて、協力活動がうまくいっていない係に対しては、協力を促す言葉かけをしてみましょう。

「その計画、〇〇さんと役割分担してやってみるといいね。」

「その新聞に〇〇さんはイラストが上手いから描いてもらったらいいね。」

「みんなで1枚の新聞に書き込むのもいいけど、それぞれで記事を書いて貼り合わせるのも一つの方法だね。」

また活動が停滞してしまった場合は、別の係と協力し合うことを促す言葉かけもいいですね。

「その大会のポスターをイラスト係さんに描いてもらったらどう？」

「活動の様子を新聞係さんに頼んで記事にしてもらったらいいね。」

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第60号は6月下旬ごろ発行予定です。

次号からは、学級づくりに生かす特別活動についての企画を始める予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は230名です。どんどん読者が増えてきています。嬉しい限りです。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時、どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで、はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しあいませんか。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

＝＝＝
山口学級活動ネットワーク メールマガジン
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部
梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（美祿市立伊佐小）
吉田哲朗（山口大学附属山口小）
＝＝＝